

北上川水系江合川鳴子ダム貯水池水位低下への対応 - 今般の少雨による渇水状況を踏まえて「利水調整会議」により対策を協議します -

北上川水系江合川鳴子ダムにおいては、貯水率（利水容量）が40%を下回ったことから、5月23日に渇水対策支部（注意体制）を設置し、取水の状況把握や関係機関と連携し、情報収集等を行って参りましたが、梅雨入りしてからもダム貯水率は依然として厳しく、下流取水にも影響を及ぼしていることから、大崎地域水管理協議会、東北電力㈱等利水関係機関との情報共有及び今後の対応について協議することを目的として、鳴子ダム管理所において「利水調整会議」を下記のとおり開催します。

なお、現在のところ、下流の各土地改良区において、取水制限、番水制を実施するなど順次できる対策を行い、放流量の減量に協力していただいているところです。

1. 鳴子ダムの状況

貯水率（利水容量） 37.9% (令和6年6月28日、9:00現在)
貯水位 E.L. 242.08m
（最低水位 E.L. 231.00m）
（6月28日9時00分時点の速報値であり、確定したものではありません。）

2. 第2回鳴子ダム利水調整会議

日時 令和6年7月2日（火）14時00分～
場所 鳴子ダム管理所 会議室
内容 鳴子ダムの貯水状況、渇水状況下における利水計画等の情報交換

構成機関：鳴子ダム管理所、大崎地域水管理協議会、大崎土地改良区、江合川沿岸土地改良区、美里東部土地改良区、涌谷土地改良区、東北電力株式会社

鳴子ダム管理所記者発表についてはホームページでご覧になれます。
ホームページアドレス【<https://www.thr.mlit.go.jp/naruko/>】

発表記者会：古川記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 鳴子ダム管理所
大崎市鳴子温泉字岩瀨2-8
電話 0229-82-2341（代表）

管理所長	こじま 小嶋	みつひろ 光博	（内線201）
専門官	きむら 木村	やすふみ 康文	（内線302）